

50周年特設サイトのご紹介

島根大学医学部では、創立 50 周年を記念して、特設ウェブサイトを開設しています。

本サイトでは、医学部の歩みや理念、記念事業の詳細、寄附の方法などを幅広くご紹介しています。



特設サイトの画像

サイトの主なコンテンツ

● 50周年記念事業のご案内

新教育棟の建設計画をはじめ、イベントや50周年ロゴマークの紹介、記念誌の発行など、未来に向けた取り組みを掲載しています。

● 50周年の軌跡

前身の島根医科大学から、看護学科創設、島根大学統合、現在に至るまでの歴史を掲載しています。

● 卒業生からのメッセージ

医学部を巣立ち、医療の最前線を支えている卒業生からのメッセージを掲載しています

● 寄附のご案内と方法

クレジットカードや銀行振込など、寄附の方法をわかりやすくご紹介。寄附者への顕彰・謝意制度についても詳しく掲載しています。

● 寄附者ご芳名の掲載（希望者のみ）

ご支援いただいた皆様への感謝の気持ちを込めて、WEB芳名録でご芳名をご紹介します。また、寄附者様からの応援メッセージも随時更新しています。

皆様のご理解とご支援が、島根大学医学部の未来を支える力となります。
ぜひ特設サイトをご覧ください、記念事業へのご参加・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



【お問い合わせ先】

島根大学医学部 50 周年事務局（総務課 企画調査係）

TEL：0853-20-2018・2019

E-mail：50th@med.shimane-u.ac.jp

アクセスはこちらから ▶▶▶▶
<https://50th.med.shimane-u.jp>



島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

2025年8月15日～9月14日

対象者： 一般 一般市民 医療 医療関係者 本学 本学教職員・学生

開催日	開催名	場所（★印 学外開催）	対象者	主催者
8月24日(日) 13:30～15:45	出雲市民フォーラム ～島根大学病院の最新治療 2025夏～	島根大学医学部 臨床大講堂	一般	島根大学医学部附属病院
8月31日(日) 13:00～15:00	令和7年度 認知症研修会・認知症サポート医 フォローアップ研修会	Zoomによるオンライン配信	一般 医療 本学	島根大学医学部附属病院 基幹型認知症疾患医療センター 島根県健康福祉部高齢者福祉課
6月1日(日)～ 8月31日(日)	令和7年度 第1回肝臓病教室・家族支援講座	肝疾患相談・支援センター ホームページ上での動画配信	一般 医療	島根大学医学部附属病院 肝疾患相談・支援センター

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



Shimane University Hospital
島大病院ニュース

2025年

8 月
Vol.142

NEWS



CONTENTS

表紙：病院長補佐
形成外科 教授 林田 健志

中表紙
・ 医学部創立50周年のご案内
・ 医学部創立50周年事業のご紹介

裏表紙
・ 50周年特設サイトのご紹介
・ 研修会・講演会・セミナー開催情報



島根大学医学部
創立50周年



Shimane University
Faculty of Medicine
50th Anniversary

医学部創立50周年のご案内

島根大学医学部長 いしはら しゅんじ
石原 俊治



島根大学医学部は、その前身である島根医科大学として、1975年（昭和50年）10月に島根県民の願いと国の「一県一医大」構想に基づき設置され、その後島根大学との統合を経て、2025年（令和7年）に創立50周年を迎えるところとなりました。この節目を迎えることができましたのも、地域の皆様方の温かいご支援とご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

初代学長である深瀬政市先生によって設置された石碑『医の炎』と『医の扉』には、本学が目指すべき3つの理念、「人を見つめる」、「地域と世界を見つめる」、「未来につなげ

る」が込められています。この理念に基づき、「国際的視野に立った豊かな教養と高い倫理観を備え、科学的探究心を持ち、医療、医学、看護学および地域社会の発展に寄与し、人類の福祉に貢献する人材の育成」を達成することが、医学部の最大の使命であると考えています。

創立以来50年間、本学は多くの医療人を育成し、地域医療の発展に大きく貢献してまいりました。医学教育の充実、先端的な研究活動の推進、そして地域に根ざした医療提供を通じて、社会の期待に応え続けてきたことを誇りに思います。

次の50年に向けて、本学はこれまでに培ってきた伝統と知見を基に、更なる発展を目指して取り組んでいきます。教育面では、未来の医療を担う優秀な人材の育成に力を注ぎ、研究面では革新的な医療技術の開発と知識の深化に努めます。また、地域医療の質の向上にも一層力を入れ、地域社会との連携をさらに強化してまいります。

今後とも、本学の成長と発展にご期待いただくとともに、引き続き温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

医学部創立50周年事業のご紹介

島根大学医学部は、次なる50年に向け、医学部のさらなる飛躍とこれまで以上の教育・研究及び地域医療への貢献を果たすため、「島根大学医学部創立50周年記念事業」を立ち上げ、次世代の医療人育成を支援する取り組みを進めてまいります。

地域の皆様に、本事業へのご理解・ご協力を賜れば幸甚に存じます。

「新教育棟」の建設

新教育棟のイメージ（建設場所・着工時期は未定）



次世代を担う医療人材の育成のため、理想的な環境を提供する「新教育棟」を建設します。

創立50周年記念ロゴマークについて



島根大学医学部
創立50周年
Shimane University Faculty of Medicine
50th Anniversary

50周年の「50」は、島根大学のロゴマークと同じ3本のラインで構成することで、学生・教職員・ステークホルダーの皆様との協働により、過去及び現在の島根大学医学部が構成されていることを表しています。
今後、ロゴマークを活用した広報活動を広く行なってまいります。

その他、50周年事業についてはこちら



創立50周年記念事業についての詳細は、こちらの二次元コードより特設サイト内でご確認いただけます。





島大病院ニュース 2025年8月

お知らせ



妊娠率向上と流産リスクの軽減を目指して 着床前検査(PGT)

婦人科 副診療科長 おりで あき
折出 亜希

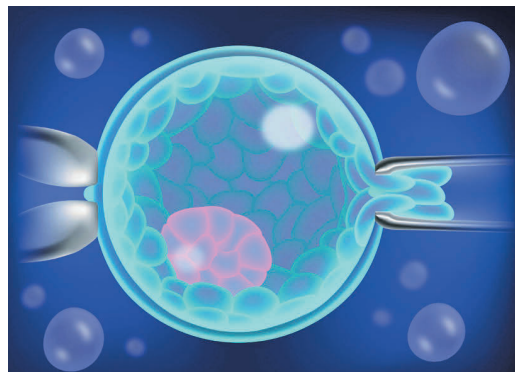
当院ではこれまで、体外受精や顕微授精などの生殖補助医療に力を入れて取り組んでまいりました。近年の医療の進歩により、妊娠の可能性を高め、流産の不安を減らす技術として、「着床前検査（Preimplantation Genetic Testing：PGT）」が注目されています。

PGTとは、体外受精で得られた胚（受精卵）を子宮に戻す前に、その染色体や遺伝子の状態を調べる検査です。染色体に大きな異常のない胚を選んで移植することができるため、妊娠率の向上や流産のリスク軽減が期待されます。PGTにはいくつかの種類があり、染色体の数の異常を調べるPGT-Aや、構造の異常を調べるPGT-SRなどがあります。

当院は、日本産科婦人科学会のPGT認定施設であり、同学会の指針に基づいてPGTを実施しています。反復流産や着床不全、高年齢での不妊治療を受けている方などのうち、医学的適応が認められた方に対し、必要に応じてPGTを行っています。検査の前には十分なカウンセリングを行い、内容や意義、限界について丁寧に説明した上で、ご希望に応じてご案内しております。

今後、一人ひとりの患者さんに合わせた、より安全で確実な治療の提供を目指してまいります。

問合せ先 産科・婦人科外来 TEL：0853-20-2389
医局 TEL：0853-20-2268



お知らせ
島大病院ニュース

2025年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年8月

お知らせ

最新治療

口腔から全身の健康を支える！ 口腔ケアセンターの機能をますます拡充しています！

口腔ケアセンター	センター長	かんの 管野	たかひろ 貴浩
	副センター長	こばやし 小林	まさこ 真左子
	副センター長	まつだ 松田	ゆうへい 悠平
	副センター長	もとおか 本岡	あきひろ 明浩

日頃より当院口腔ケアセンターの運営にご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。2019年に当院の診療支援施設の1つとして設置された「口腔ケアセンター」は、手術やがん治療等をはじめとする各種全身疾患の治療を口腔からサポートすることを目的として診療を行なって参りました。

設置から6年が経過しましたが、関連する診療科との緊密な連携を大切に、センター機能を随時拡充してきました。すでに連携してきた診療科に加え、センター設置以降には緩和ケアセンター、高度脳卒中センター、集中治療室（ICU）に入院しているすべての患者さんに対して口腔ケアを提供できる体制を整えてきました。また、2025年1月には麻酔科外来の中に口腔ケア専用の診察室が開設されました。加えて、2025年4月からは、すべての全身麻酔による予定手術患者に対し、従来から行ってきた口腔管理と医療安全やタスクシェアによる働き方改革への貢献のために、窒息・誤嚥予防のための嚥下スクリーニング（EAT-10）も実施できる体制を整えました。現在、当センターの年間延べ総受診者数は12,614件（手術関連：8,345件、手術以外のがん治療関連：4,269件※2024年のデータ）を記録し、口腔から全身の治療へと貢献しています。

また、口腔ケアセンターおよび歯科口腔外科学講座では、関連機関、講座と連携して、口腔と全身の健康との関連性に関する研究を推進し、口腔の状態や機能が「寿命や介護必要度1」「骨密度2」「血糖値や塩分摂取量3」と関連することなどを明らかにしてきました。研究で得られた知見を診療へとトランスレーションし、今後もより多くの口腔のサポートを必要とする地域の皆様に安全安心で質の高い医療を提供できるように尽力して参ります。



- 1) Lancet Healthy Longev. 2024 Nov;5(11):100636
- 2) J Korean Assoc Oral Maxillofac Surg. 2023 Oct 31;49(5):243-251
- 3) Healthcare (Basel). 2023 Feb 23;11(5):646.

問合せ先 口腔ケアセンター TEL：0853-20-2301

お知らせ
島大病院ニュース

2025年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2025年8月

お知らせ

生命科学講座 ご紹介

生命科学講座 教授 まつざき ゆみ
松崎 有未

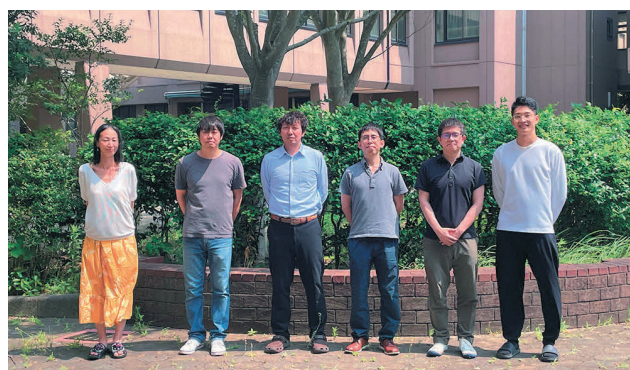
島根大学医学部生命科学講座では、幹細胞生物学と細胞内オルガネラの機能に着目した基礎生命科学研究を通じて、再生医療および難治性疾患の新規治療法開発に貢献することを目指しています。

私たちは、細胞の分化・増殖・老化といった基本的生命現象の分子機構に加え、ミトコンドリア動態の制御やエネルギー代謝との関係性についても精力的に研究を行っています。

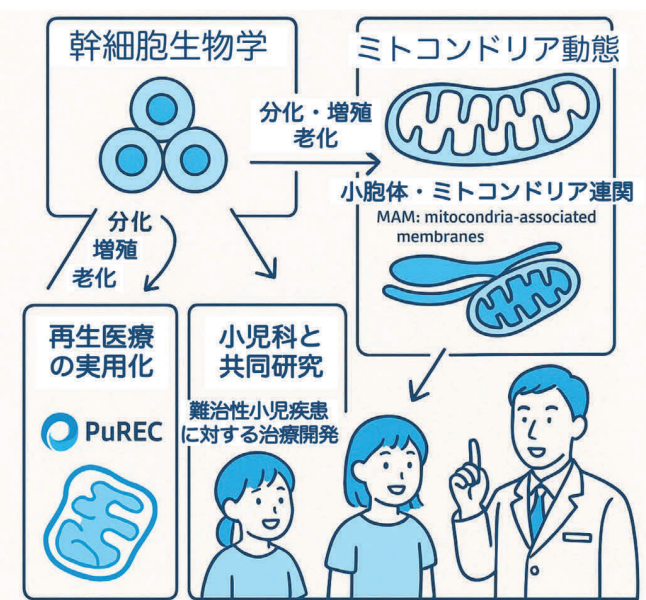
また、今後は「小胞体とミトコンドリアの機能的連関(MAM: mitochondria-associated membranes)」にも着目し、細胞内オルガネラ間のクロストークが細胞機能や疾患に与える影響を解明すべく、新たな研究展開を計画しています。

基礎研究に加え、PuREC 株式会社との連携による再生医療の実用化や、当院小児科との共同研究による難治性小児疾患に対する治療開発も推進しており、研究成果の社会実装を見据えたトランスレーショナルリサーチに力を入れています。

今後も、生命科学・再生医学・小児科学を融合させた学際的研究を通じて、次世代医療の実現に向けた革新的な知見の創出を目指してまいります。



2025年度生命科学講座メンバー



私たちの教室では、幹細胞を使った基礎研究を行っています。細胞の不思議な仕組みを解き明かしながら、将来の医療につながるヒントを探し、『研究で終わらせない』そんな思いで日々チャレンジを続けています。

問合せ先 生命科学講座 TEL : 0853-20-2351



島大病院ニュース 2025年8月

ご報告



令和7年度国公立大学附属病院感染対策協議会ブロック別研修会(中国・四国地区)を開催しました

感染制御部 副部長 はだの よしろう
羽田野 義郎

6月19日(木)から20日(金)にかけて、当院において、国公立大学附属病院感染対策協議会教育作業部会ブロック別研修会(中国・四国地区)を開催いたしました。本研修会は、総勢101名のご参加をいただき2日間にわたり活発な議論が交わされました。

1日目は、国立大学病院間で行っている感染対策相互ラウンドについて、受審校およびサーベイヤ校の立場からの報告がなされ、各施設における取組の工夫や課題が共有されました。続く職種別部会では、各職種にわかれ、それぞれの職種の視点から、多角的な意見交換が行われました。2日目は、「日常業務の工夫」および「働き方改革と感染対策」をテーマにシンポジウムを実施し、各職種の立場から現場に即した具体的な取り組みが報告されました。

本研修会を通じて、各大学病院における取り組みを学ぶとともに、中国・四国地域全体で感染対策を支え合うネットワークの重要性を改めて実感いたしました。主幹校として、大きなトラブルなく本研修会を無事に終えることができたことに安堵するとともに、ご協力いただいたすべての皆様に深く感謝申し上げます。今後も各職種の専門性と視点を活かし、島根県の感染制御の質の向上に貢献してまいります。

問合せ先 感染制御部 TEL : 0853-20-2091



2025年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2025年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2025年8月

ご報告

解析編

データで読み解く患者満足度アンケート —ステップワイズ回帰が示す改善の方向性—

患者満足度向上WG

医療情報部 准教授 かわむら としひこ
河村 敏彦

当院では過去3年間(2022～2024年度)の入院患者437名のアンケート結果をもとに、「入院生活全体の満足度スコア」に影響を与える要因を明らかにするため、**AIC(Akaike Information Criterion: 赤池情報量基準)**に基づくステップワイズ回帰による統計分析を実施しました。

今回の分析では、入院生活に関する18の設問の中から満足度との関連が強く、モデル全体の予測精度を高める項目が選択されました。最終的には表に示す8項目となり、そのうちの6項目は5%未満の有意水準で満足度と強い関連が確認されました。

これらの項目で構成された回帰モデルの決定係数は0.49と高く、満足度スコアの約半分を説明できる結果となりました。特に「職員間の連携」は統計的に最も強い関連があり、チーム医療としての一体感が患者さんの安心感に大きく寄与していることが示唆されました。

今後の改善活動では6項目—医師の説明、看護師の傾聴、相談員の対応、職員間の連携、食事、病室の快適さ—を中心に、重点的な取り組みを進めることが効果的です。

当院では今回明らかになった「対話とつながり」に関する要因を重視し、現場全体で共有を図りながら、医療の質のさらなる向上に組織として取り組んでまいります。

表：ステップワイズ回帰で選ばれた8項目とp値

	設問内容	p値
1	職員間の連携	0.00036
2	医師の説明(病状や治療方針のわかりやすさ)	0.00042
3	相談員(医療ソーシャルワーカー・がん相談員)の対応	0.00324
4	病室・トイレ・シャワーの快適さ	0.00494
5	食事	0.01198
6	看護師の傾聴	0.02407
7	案内板のわかりやすさ	0.09261
8	医師の診療内容	0.10111

問合せ先 医療サービス課 TEL：0853-20-2067



2025年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年8月

ご報告



出雲キャンパスクリーンデー及び 清掃整備ボランティア活動について

会計課施設管理室長 よしだ たいき
吉田 泰樹

当院の環境整備は、各種団体のボランティアの方々に定期的に行っていただくほか、業者に委託していますが、職員のボランティアによる環境整備も実施しています。

今回は、6月に実施した職員ボランティア活動のご報告です。

環境月間にあたる6月に教職員の力によりキャンパス内の景観を整えるキャンパスクリーンデーを実施しました。6月5日(木)に、石原学部長をはじめとした教職員総勢約100名により、本部棟と臨床研究棟周辺や医学図書館周辺の除草・剪定などの清掃活動を行いました。

更に6月28日(土)に、椎名病院長をはじめとする教職員総勢25名により、臨床研究棟・第二研究棟周辺の除草・剪定などの清掃活動を行いました。

当日は、仲夏にあたる時季から一足飛びに盛夏を迎えた天候でしたが、参加者の方には懸命に除草・剪定・集積作業を行ってもらい、風通しのよい景観になりました。

今後も医学部ならびに当院の美観を維持するボランティア清掃活動にご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

問合せ先 会計課施設管理室 TEL：0853-20-2549



2025年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2025年8月

お知らせ

「緩和ケア地域連携カンファレンス」を開催しています！

緩和ケアセンター センター長 おおの さとし 大野 智
看護師長 みよし ゆみこ 三吉 由美子

緩和ケアセンターでは、「緩和ケアを希望される患者さんが、望まれた場所で療養できる環境づくり」を目的として毎月1回、緩和ケア地域連携カンファレンスを開催しています。

このカンファレンスには、医療・保健・福祉・行政関係者のどなたでも参加できます。病院や在宅緩和ケアを提供する在宅診療所や開業医、訪問看護、訪問介護、薬剤師、リハビリスタッフ、施設などから話題提供を頂き、アドバンス・ケア・プランニングや各地域での取り組み、小児緩和ケアの院内外来の多職種連携など、緩和ケアに関連した取り組みについて、情報交換や課題についての意見交換を行っています。

開催方法は、ハイブリッド方式とし、これまで距離的に参加が難しかった県西部地区や隠岐地区からも参加していただきやすくなりました。毎回50名程度の方に参加いただき、島根県全域における情報の共有ができるようになってきています。また何よりも顔の見える関係づくりができることで、病院側と在宅医療の担い手側の意識のすり合わせがしやすくなり、地域連携が促進されることが期待できます。

カンファレンスの情報は当院ホームページのほか、出雲市、島根県のホームページで確認して頂くことができます。興味のあるテーマからでもお気軽にご参加ください。お待ちしております。

2025年度 年間のカンファレンス予定

日時	テーマ	講師
4月22日(火) 済	第108回 診断時からの切れ目のない緩和ケアを目指して ～ともに紡ぐしまねらしい緩和ケア～	島根県 がん対策推進室 川岡和也 氏
5月27日(火) 済	第109回 小児緩和ケアについて ～院内外での多職種連携～	コミケア在宅看護センター出雲 中澤ひろ氏、内田唯氏 院内多職種
6月24日(火) 済	第110回 地域住民に寄り添う 躍動と安らぎの里づくり鍋山「ちょんてご」の 取り組み～自ら望んだ人生を自由に選ぶことのできる地域医療を目指して～	平成記念病院 看護師 躍動と安らぎの里づくり鍋山「ちょんてご」代表 中村裕美子氏
7月18日(金) 済	第111回 希望もクスリ～がん治療医×緩和ケア医からのメッセージ～	江戸川病院 緩和ケア 腫瘍血液内科 後藤宏顕医師
9月30日(火)	第112回(仮)非がん ALS/心不全の緩和ケア 保健所の関わり・地域や多職種 との取り組み	出雲保健所 平田雅子氏
10月28日(火)	第113回(仮)ACPIについて	島根県立中央病院 今田敏宏医師
11月25日(火)	第114回(仮)臨床倫理	病院医学教育センター 廣井直樹医師
12月23日(火)	第115回 認知症と緩和ケア	島根大学医学部附属病院 老人看護専門看護師 藤江さとみ氏
2026年1月27日(火)	第116回 在宅型有料老人ホームについて	クレドテラス 山根萌子氏
2026年2月24日(火)	第117回(仮)訪問看護におけるBCP(事業継続計画)の取り組み	ケアプロ在宅医療株式会社 金坂宇将氏
2026年3月24日(火)	第118回(仮)災害と緩和ケア	島根大学医学部附属病院 災害看護専門看護師 森山詠美子氏

問合せ先 緩和ケアセンター TEL：0853-20-2441



2025年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年8月

ご報告



出雲市灘分地区住民の皆様にご視察いただきました

総務課企画調査係

6月25日(水)、出雲市灘分地区の住民の皆様が当院を視察されました。今回の視察は、灘分コミュニティセンター様が企画された「つながる心の架け橋～医療現場からのリアルな声～」の一環として行われ、地域住民の皆様が救急医療の現場を知ること、地域としてできることを考える機会とすることを目的としています。

はじめに、椎名浩昭病院長より、病院内における救命救急部門の役割や、救急外来患者の受け入れ状況等について説明がありました。続いて、高度外傷センターの下条芳秀講師、E-ICUの神谷千絵副看護師長、森山詠美子看護師より、医療現場の紹介が行われ、その後、参加者の皆様との意見交換が行われました。

「普段から備えておくべきことは？」というご質問には、「かかりつけ医に気になることを相談しておくこと」や「お薬手帳などを準備しておくこと」などのアドバイスがあり、多くの方がうなずきながら耳を傾けておられました。

最後に、救命救急部門の見学として、ドクターカーや高度外傷センターをご覧いただきました。ドクターカーでは、搬送中にカメラ映像を病院に送信することで、スムーズな引き継ぎが可能となっていること、高度外傷センターでは、搬入から手術開始まで最短1分で対応することもあるなど、高度な医療の特徴についてご説明し、皆様に熱心にご見学いただきました。

問合せ先 総務課企画調査係 TEL：0853-20-2018・2019



2025年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2025年8月

ご報告



医学部茶道部が「七夕茶会」を開催しました ～老人ホームで、笑顔と癒しのおもてなし～

島根大学医学部 茶道部
あみおか 網岡 みさき 美咲

7月12日（土）に、私たち島根大学医学部茶道部は近隣の老人ホーム「清流園」を訪問し、「七夕茶会」を開催しました。

これは、私たちが日々の部活動での学びを活かしながら、地域との交流を深める課外活動の一環として毎年行っているものです。

当日は七夕の短冊や笹飾りで彩られた会場にて、季節の和菓子と心を込めて点てたお抹茶を用意して、利用者の皆さまをお迎えしました。

会場にはやさしい笑顔が広がり、お点前や浴衣を褒めていただいたり、「久しぶりに茶道に触れられてよかった」といった嬉しいお声をいただいたり和やかで心温まる時間を過ごすことができました。私たちにとっても、相手を思いやる気持ちやお茶会を円滑に運営することの大切さを改めて実感する貴重な機会となりました。

今後もこうした茶道を通して繋がるご縁を大切にしながら、人として、また医療人として成長していきたいと思ひます。

問合せ先 学務課学生支援担当 TEL：0853-20-2088



2025年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年8月

ご報告



「第16回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会」で 最優秀賞を受賞

総合診療医センター 客員准教授
きじま 木島 つねたか 庸貴

地域の医療機関の皆様、日頃より当院の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、6月20日（金）から22日（日）にかけて開催されました「第16回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会」におきまして、当院医学科6年の大井礼美さんと私たち総合診療医センターが共同で取り組んだ研究発表が、学生セッション口演部門で見事「最優秀賞」を受賞いたしましたので、ご報告申し上げます。

発表演題は「医療現場の職員における心理的安全性と職場への満足度及び勤務継続に関する横断的研究」です。本研究は、医療スタッフが気兼ねなく意見を表明でき、安心して新しいことに挑戦できる職場環境、すなわち「心理的安全性」と、かげ口や「ひなた口（＝褒め言葉などポジティブな言葉）」の経験が、日々の満足度や離職意向にどのように関連しているかを調査したものです。働き方改革や人材確保が地域医療全体の喫緊の課題となる中、すべての医療人がやりがいを持って働き続けられる環境づくりの一助となる、大変意義深い研究と考えております。

大井さんの真摯な発表の姿勢と、研究内容の新規性・重要性が高く評価され、今回の受賞につながったものと思います。指導に携わった者として、大変誇らしく、喜ばしく感じております。

今回の受賞を励みに、総合診療医センターとして、医学生の教育・研究活動への支援を一層強化するとともに、この研究成果を今後の地域の医療現場の発展に活かしていきたいと考えております。

最後になりましたが、本研究にご協力くださいました関係者の皆様、この場を借りて心より御礼申し上げます。



大井さん(左)と指導医(右)



学会発表時の様子

問合せ先 総合診療医センター TEL：0853-20-2217



2025年8月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





お知らせ



プロジェクトメンバー集合写真

クラウドファンディングご協力のお願い

医療崩壊を防げ!未来の医療を支える 自動運転型車いす継続プロジェクト

目標金額: **2,340,000円**

募集期間: **2025年8月31日(日) 23:00まで**

URL: <https://readyfor.jp/projects/158919>

※プロジェクトの趣旨にご賛同いただけましたら、周囲の方々にもご紹介いただけますと幸いです。

公開ページこちらから↓



リハビリテーション部 副部長

さかい やすお
酒井 康生

当院では 2024 年より、リハビリ患者さんの移動支援を目的に「自動運転型車いす」を導入しました(写真1)。医療スタッフの業務負担を軽減し、患者さんの安心・自立を支えるこの取り組みは、全国の国立大学病院で初めて病棟運用された先進事例です。

導入初年度は無事故で運用され、患者さん・スタッフ双方から高い評価を得ています(表1)。

本プロジェクトは、昨年度「医学部附属病院高度医療推進等基金」により期間限定の試験運用としてスタートしましたが、今後も継続するには自己資金による費用負担が必要です。

また、利用者の多くは高齢で術後の身体的課題を抱えており、現行機能では十分対応しきれないケースもあります。機能改良やシステム開発には時間と資金が必要であるため、まずは「現在の環境で最大限活用できる運用方法」の確立をこの1年で目指します。そして、その成果を基に企業協賛なども募りながら、持続可能な運用体制の構築を目指していきます。

現在、継続運用に必要な資金を募るため、クラウドファンディングを実施しております。医療現場の課題解決に向けたこの挑戦を、ぜひ多くの方にご支援・ご関心いただければ幸いです。

写真1



患者さんの自動運転型車いす乗車の様子

表1

自動運転型車いすが切り拓く、 患者さんとスタッフ双方にやさしい未来の医療搬送

【患者さんの声】

- ・職員の方にお話しなくてよく、自立している感覚が持てた
- ・安心して乗れた。周りを見る余裕もあり、リハビリに行くのが楽しかった
- ・自分で車いすを操作すると汗が出るほど大変だが、自動運転型車いすは楽でありがたい
- ・肩が痛くならずに移動できた。
- ・足腰が弱い方はぜひ使ってほしい
- ・歩くのに不安があるときに助かる。乗り心地も良く、安心感がある

【医療スタッフの声(アンケートより)】

- ・搬送業務の軽減(17名)
- ・看護師・助手・クラークの業務負担軽減(5名)
- ・送迎の電話が不要になった
- ・患者さんの笑顔が増えた
- ・患者さんが「楽しい」と言っていた(複数)

問合せ先

リハビリテーション部 TEL: 0853-20-2457

